

研修名	訪問看護師の育成体制整備支援事業 「状態変化時のシミュレーション演習」				
領域	訪問看護	会場	新潟青陵大学	資料代	会員 1,100 円 非会員 2,200 円
対象	対象者；訪問看護ステーションに従事している看護職員 募集；10名 受講；10名				
日時	令和6年2月10日（土曜日）10:30～15:00				
ねらい （目標）	1. フィジカルアセスメントの基本が理解できる 2. 状態変化時のアセスメントができる 3. 状態変化時の適切な対応を考えることができる				
講師	<b>【講 義】</b> フィジカルアセスメントの基本 <b>【情報交換】</b> 受講動機、日常業務で感じていること等 <b>【演 習】</b> シミュレーション機器を活用したアセスメントと対応 坪川トモ子 新潟青陵大学 教授 田中 瞳 新潟青陵大学 准教授 浅野 仁美 新潟青陵大学 助教				
内容・方法	講義、情報交換、演習				
結果・評価	○評価方法；アンケート（回収率 70.0%） ○受講者満足度；満足 100% ○目的達成度；目的1 できた 57% まあできた 43% 目的2 できた 57% まあできた 43% 目的3 できた 29% まあできた 71% 受講者の受講目的の達成度 できた 29% まあできた 71%				
企画の評価	○目的・目標の妥当性 満足度・目標達成度ともに高い評価であり妥当であった。 ○講師・内容の妥当性 満足度、目的達成度ともに高い評価であり妥当であった。 ○プログラム・時期の妥当性 令和5年度初めての取り組みである。 訪問看護ステーションにおいては同行訪問、カンファレンス等を活用しアセスメントと対応について教育しているが、その過程を言語化することができていない。この研修会では呼吸器に関連した講義と演習であり理解を深めることができた。 訪問看護の経験の浅い職員が受講すると推測していたが、経験の長い職員も複数あった。「スタッフに伝達する」との感想があったように、研修内容を新任者向けと指導的立場にある職員向けになるよう工夫することを講師と検討した。 受講時期は、研修開催の少ない時期で設定した結果、降雪時期となった。開始時間等を配慮したため時間が不足したとの意見があった。				
課題	受講者の経験年数、受講目的に応じたグループ編成とし、より理解を深める。 呼吸器に関連した内容の他、訪問看護実態調査で多い疾患である循環器疾患、消化器疾患に関連する内容を取り入れる。				
担当者	訪問看護推進課・訪問看護総合支援センター				